

「生きる」 感じる瞬間アラカルト！！

- 家に帰って「あゝ！」といいながらくつろぐこと
- お腹がすいてぐうぐうとてないで隣の子と照れ笑いなんかすること
- 机に向かって30分で眠くなっちゃうこと
- お湯で割った芋焼酎の鼻に抜けるアルコールの中の芋の薫り
- 痛みを感じること
- 昔、今は亡き兄に言われた言葉です
幼い私がどっかにぶつけて痛がったら
「心配すんな！痛いつてのは生きてる証拠だ！」
- 大好きなのに 大嫌いだ！
と、言ってしまうということ
- 流れる涙が あなたのためだということ
- 涙は枯れる、ということを知った夜
- 泣いて泣いて泣いて泣いても眠れること
眠ったらまた目覚められること
目覚めたら立ち上がれること
- 裏切られること
信じること
裏切られること
まだ信じること
- 「もう私はだめだ」と考え
「未来は何も見えない」などと考えながら
きちんとお腹が空いて
お酒も飲みたくなつて
今日の夕焼けをみて感動していること
- 小さな奇跡を積み上げていくということ
- 新しい明日をたのしみにベッドにもぐりこむこと
- 答えはいつも自分の中にあること
どんな苦しみにも光は差すということ
- 目覚めて「ああ夢だった」ということ
- 「たとえば、もし今、死んだなら
後悔することが、たくさんあると思えること
- 「さよなら」じゃなくて
「またね」と言っただけのこと
- 多くの人の死を見送るということ
いつか見送られるその日まで
- それはいつか分からない
最後の瞬間なのかもしれないけど
「ああ、私はこのために生まれてきたんだな」
という時に会おうため

谷川俊太郎「生きる」より

いかがでしたか？

私は、どれも「言えてる」「わかる～」と、うなずきながら読みました。大切なのは、「今、生きてる！～生かされてる！」ということを実感して、「あたりまえ」を「あたりまえ」とばかり思わず、時には何気ない瞬間、瞬間に「ありがとう」と感謝する気持ちを持つことが大切な気がします！！

「今日も息が出来る」

「今日も食べれる」

「今日も歩ける」

「今日も笑える」

「今日も泣ける」

いろんな事に「ありがとう」

「あたりまえ」の反対が「ありがとう」だって！

